

平成 29 年度 霞が関働き方改革推進チーム会議（第 1 回）議事概要

○日時：平成 29 年 9 月 8 日（金）14:00～16:30

○場所：中央合同庁舎 8 号館 6 階 623 会議室

○概要

1. 昨年度（28 年度）の取組の紹介と今年度（29 年度）の進め方について

- ・働き方改革推進チームは、昨年度から引き続き、アイデアを持ち寄り、霞が関をより良い職場とするための具体的な改善策をまとめるための場であることを確認。
- ・「10 年後の理想の中堅・若手行政官の姿を定義し、10 年後の理想と現状のギャップとその生じている現認を特定し、具体的な解決策を考える」という昨年度の検討テーマを受けて、今年度は①組織のパフォーマンス向上に向けたマネジメント改善、②柔軟な働き方と勤務時間管理、③業務の削減・効率化とグループ別にテーマを設定し、検討を進めることを確認。
- ・内閣人事局から議論の運営支援役としてグループサポーターを選任し、現状や取組事例について、メンバーからの質問・相談に対応、議論に伴走する第三者としての視点を提供するために関与することを確認。

2. グループ内メンバーの自己紹介、昨年度の成果の共有及び各検討テーマに関する基礎知識の共有

3. 各グループにおける討議（問題意識の共有と論点の整理）及び全体共有

- ・各グループにおいて、各テーマに関する問題意識の共有と論点の整理（問いの検討・設定）を行い、最後に全体で共有。

①組織のパフォーマンス向上に向けたマネジメント改善

「管理職個々のマネジメント能力向上」及び「組織マネジメント」の 2 つの観点から問題意識を共有。前者については、理想の管理職像を立場や職場を考慮し設定した上で、実効性の高い施策や管理職層にマネジメントの意識を持たせる必要性等について議論。後者については、組織のマネジメントをどのようにステップアップさせていくか、業務の質がそれぞれの職場で異なる中で職員のモチベーション向上及びパフォーマンス向上に資する目標設定の在り方について議論を実施。

②柔軟な働き方と勤務時間管理

短期と中長期とに分けて現状及び課題を共有。前者（短期）については、制度を利用する際の課題等について議論し、今後、各省庁における既存の仕組み（テレワーク、フレックスタイム制等）の改善策・普及策について検討することとした。後者（中長期）については、国家公務員制度面での課題、時間ではなく成果で評価する仕組みの

導入の是非について議論し、今後、「柔軟な働き方」を更に促進させるための制度について検討することとした。

③業務の削減・効率化

どうすれば業務の削減・効率化を能動的にできるのかについて議論を実施。削減・効率化が実現されている状態について認識を共有。今後、コスト意識が薄いことを課題として捉えた上で、業務の見える化やコスト意識の醸成に成功した事例（ワークライフバランス職場表彰等）やこれまでの各取組での議論を踏まえ、これまでの取組の成功要因を分析するアプローチを取ることにした。

6. 次回

- ・各グループにおいて、今年度の今後の活動計画及び議論の論点を詳細化の上、引き続き議論を深めていくこととした。

以上